

家族葬をやめて ポイントを貯めよう！



「家族」崩壊と言われるご時世に、ネットなどで「家族葬」や「家族挙式」の広告をよく目にします。このコピーの「家族」って、現実離れした何とも「あやしげ」な響きなのでしょう。私はよく「家族葬」に戸惑います。枕^{まくらきょう}経(お亡くなりになり最初におとなえするお経)に伺った際に施主から、「今回は家族葬という形式で行いますから」と言われ帰ります。小規模な式のため夕方お通夜に伺うと、ご近所や職場の方が多く参列されている普通の式であったりします。本葬も同じくです。

先日、我が町に初めて100パーセント民間のR葬祭社の葬儀会場がオープンしました。今までJAが運営するものはありました。競争相手ができてJAもサービス向上に頑張らずにはおれなくなるでしょう。住民の関心はそれなりに大きいようです。そんななかGWにオープン前の内覧会がありました。そんな日、私は法衣を脱ぎ私服で、あるお店のランチを食べていました。昼食はよく外食する私です。私のテーブルの近くにその内覧会の帰りである初老の男性が2人座りました。私のいつもの悪い癖で2人の会話に聞き耳を立てますと… 2人は、R社がたいへんお気に入りになり大満足の様子です。以前、私の檀家さんがR社で葬儀をされ、

中日の大ファンであった亡き御主人のために、前夜の勝利ゲームのスポーツ新聞を拡大コピーしたものが棺桶内に布団の如く掛けてあり、『燃えよドラゴンズ♪』が出棺の時に流れていました。真心のあるスタッフがいる良い企業だという印象は私にもあります。更に、今会員に登録しておくとう割引があるそうで、お2人は近々実行されるようです。亡くなってから割引されても自分では使えないと思うのですが。我々は悲しい^{さが}性で、「値引き」やら「ポイント」という言葉に弱くできております。

手をポンと叩いて、「よし決めた！ わしが死んだらRさんで家族葬や」。男性がすがすがしい表情で表明されました。人生の一大決心です。誰にも「迷惑」をかけたくないから、御主人はひっそりと家族葬にするそうです。

実は、人生は閻魔さま発行の「善行ポイント」を貯める毎日なのです。葬儀の出棺の時に、「惜しい人を亡くしましたね」と、何人の人が見送りに来ているのかを閻魔さんの家来がカウンター片手に調査に来ています。この日だけはその人数に応じてなんと！「ポイント100倍デー」なのです。閻魔さまのおはからいの100倍ポイント使って地獄行きをなんとか免れた人もい



ます。どうせ死んだら自分で歩いて火葬場まで行けないこの身の上。後の人に「迷惑」などと考

えないで、残された人生を「世の為人の為」に生き、多くの人に見送られるよう、「ポイント100倍」を有効に使いましょう。(俊徳丸)